平成21年度(対20年度実績)

事　務　事　業　評　価　表

作 成 日　平成　21 年　5 月　28 日

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内　賢和	電 話	483-6156

1. 事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	9922	事務事業名称	過年度損益修正損	短縮コード	経常	9922	臨時	

予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	03	特別損失	目	01	過年度損益修正損

区 分	☐ 自治事務　☐ 法定受託事務　☑ その他	根拠法令等	地方自治法

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

発生した料金等が消滅時効に係ったとき。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測	総合計画の施策体系			
事業区分「その他」のため評価対象外	５本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして
	大項目（節）	04	水道
	中　項　目	01	水道
	小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上
	細　項　目	03	水道事業の健全経営
	実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	平成20年4月　～　平成21年3月	計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	時効に係る未納料金
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと: 不納欠損書類の整備及び滞納者の追跡調査。
	※平成21年度に計画していること: 不納欠損書類の整備及び滞納者の追跡調査。
意図（何を狙っているのか）	時効による債権消滅。
結果（どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外

区　分			単位	１９年度	２０年度		２１年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	9922	事務事業名称	過年度損益修正損	所属名	給排水相談課

			単位	１９年度	２０年度		２１年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	2,298	1	4,407	1
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			滞納者の追跡調査	滞納者の追跡調査	滞納者の追跡調査	滞納者の追跡調査
人件費(B)			千円	9,522.9	9,035.3	4,515.4	4,515.4
トータルコスト(A)＋(B)			千円	11,820.9	9,036.3	8,922.4	4,516.4

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理　　由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☐ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☑ 評価対象外事項	事業区分「その他」のため評価対象外
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☐ 達成していない ☑ 評価対象外事項	事業区分「その他」のため評価対象外
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☐ 可能性はない ☑ 評価対象外事項	事業区分「その他」のため評価対象外
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☐ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☑ 評価対象外事項	事業区分「その他」のため評価対象外
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☑ 可能性がない	事業区分「その他」のため評価対象外
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☐ ない	

コード	9922	事務事業名称	過年度損益修正損	所属名	給排水相談課

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☐ 改革・改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止（事業完了含む）
- ☐ 休止
- ☐ 現状のまま継続

事業区分「その他」のため評価対象外

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

成果＼経費	削減	不変	増加
向上	☐	☐	☐
不変	☐	☐	☐
低下	☐	☐	☐

事業区分「その他」のため評価対象外

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

事業区分「その他」のため評価対象外

所属長コメント

事業区分「その他」のため評価対象外

評価調整委員会評価

- ☐ 改革改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止（事業完了含む）
- ☐ 休止
- ☐ 現状のまま継続

事業区分「その他」のため評価対象外